

学校法人 東京聖徳学園

聖徳フラッシュ

第120号

令和4年6月1日

発行

学校法人 東京聖徳学園
〒108-0073 東京都港区三田3-4-28
TEL.03-5476-8811(代)



聖徳学園ホームページ

https://www.seitoku-u.ac.jp/gakuen/

- 聖徳大学大学院
- 聖徳大学附属小学校
- 聖徳大学教職大学院
- 聖徳大学附属幼稚園
- 聖徳大学短期大学部
- 聖徳大学附属第二幼稚園
- 聖徳大学幼児教育専門学校
- 聖徳大学附属成田幼稚園
- 光英VERITAS高等学校
- 聖徳大学附属浦安幼稚園
- 聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校
- 聖徳大学三田幼稚園
- 光英VERITAS中学校
- 聖徳大学八王子幼稚園
- 聖徳大学附属取手聖徳女子中学校
- 聖徳大学多摩幼稚園

聖徳フラッシュ

流山市教育委員会と連携 協力に関する協定を締結



協定を交わす田中弘美教育長と川並弘純学長(右)

聖徳大学ならびに聖徳大学短期大学部は、五月十八日(水)、流山市教育委員会(田中弘美教育長)と、教育の課題に関して連携協力し、相互の教育の充実と発展に

INDEX

▼ 学園 …… 2 3 4 5

▼ 大学院 大学短大 …… 1 2 3 4

▼ 幼児教育専門学校 …… 5

▼ 光英VERITAS中・高 …… 5

▼ 取手聖徳女子中・高 …… 6

▼ 小学校 …… 6

▼ 幼稚園 …… 6 7

▼ インフォメーション …… 8

「SEITOKU チャレンジDAY」を開催

五月十日(火)、フレッシュマンプログラム「SEITOKU KUチャレンジDAY」を開催しました。

これは、大学短大の一年生を対象として行われるフレッシュマンプログラムの一環として実施するもので、グループ活動を通して企画力やリーダーシップ力を高め、仲間との信頼関係を築きながら、チームとしての

一体感、達成感を得ることを目的としています。

この研修は、「これから自分達が通う大学のある松戸区MATSUDO」私たちが通う街」と、「調べて好きになった街を歩いてみよう」をテーマとした①「Road to SHIBAMATA 2022」全ての道は柴又へ」の二つの

令和四年度 SOAオープンングセレモニー

四月十六日(土)、本学川並香順記念講堂にて聖徳大学オープン・アカデミー(SOA)の新年度開講式「令和四年度SOAオープンングセレモニー」を行いました。

昨年引き続き、座席の間隔をあげるなど十分な感染防止対策を講じ、当日は八十名の来場がありました。

平成四年にスタートしたSOAは、三十年の節目を迎えました。今年度のSOA年間テーマは「夢への挑戦」です。

初めに、川並弘純学長による主催者代表挨拶、長江曜子SOA校長による挨拶、今年度のSOA名誉会員授与者八名の紹介を行いました。

SOA名誉会員とは、聖徳大学オープン・アカデミーで六十二単位(一単位・八十五分授業を十回受講)講修得された方に「総合修



高田千明先生



途中、松戸市内の「戸定邸」(旧徳川昭武別邸)、「松戸神社」には多くの学生が立ち寄りました。また、今回のチャレンジでは約八割のグループが江戸川を橋で渡らずに「矢切の渡し」の渡し船で都内へと渡りました。

普段経験のない乗船体験に、学生は心地よさそうに五月の風を感じていました。

講演は、「陸上との出会い」「結婚・出産」「子育てとアスリート」「パリ二〇二四にむけて」という四つの柱で構成され、恩師である本学大学院教職研究科太田裕子教授との対談形式で行われました。

高田先生は運動神経抜群の子でもでしたが、先天性黄斑部変性症により徐々に視力を失い、中学から盲学校に通いました。持ち前の足の速さを生かして、高校時代は国体にも出場。社会人で本格的に陸上を始め、二十一歳でパラリンピックの存在を知りました。全盲になる前のさまざまな体験や、結婚、出産を通して「何でもプラスにとらえ、障がい個性として考え、できる人がカバール家族で支えあ



う大切さ」を実感しました。そして「やらずに後悔するより、挑戦して後悔した方がいい」と短距離走から走幅跳へと種目変更し、パラリンピックへの切符を手にするまでの、バイタリティーあふれる半生が披露されました。

来場者からは、「人生の道標を頂けた」「障がいを持つている方の話を直接聞ける機会は少ないので参加できて良かった」「競技にも生活にもポジティブな高田さんの話は大変力強く、こちらもパワーを頂けた」等の感想がありました。

今後も幅広い年齢層が安心して学び続けられるよう、講座の充実に取り組みしていきます。

■聖徳大学オープン・アカデミー(SOA)
お問い合わせ: 聖徳大学生涯学習課
TEL. 047-365-3601 <https://www.seitoku.jp/soa/>

令和四年 春の叙勲・褒章受章者

四月二十九日(金・祝)付で令和四年春の叙勲・褒章受章者が発表され、本学園関係者より次の先生が受章の榮に浴されました。教職員一同、心よりお祝い申し上げます。

《瑞宝中綬章》(教育功勞)

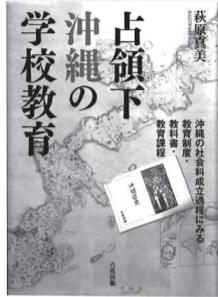


聖徳大学名誉教授
聖徳大学音楽学部
客員教授
徳丸 吉彦 様

本学大学院教職研究科
萩原 真美 准教授の研究・著作が
沖縄協会 沖縄研究奨励賞を受賞
社会科学部門



聖徳大学大学院
教職研究科
萩原 真美 准教授



令和三年十二月、第四十三回沖縄研究奨励賞(公益財団法人沖縄協会主催)の受賞者が発表され、本学大学院教職研究科の萩原真美准教授の研究・著作「占領下沖縄の学校教育」(六花出版、二〇二一年)が沖縄研究奨励賞・社会科学部門を受賞しました。

同研究は、戦後沖縄の社会科成立過程を教育制度、教科書、教育課程などの視点から分析し、それを通じて占領下沖縄の学校教育について論じたものです。戦後の沖縄を方向づける重要な四年間(1945-1949)にいかにか教科としての社会科が生まれ、沖縄の歴史の授業を副読本によって実施していくという本土での社会科教育とは異なるものとなったのか、またそれが沖縄の人々の描く沖縄の未来像とどのようにつながっていたのかを明らかにしています。同賞は、沖縄の地域振興や学術振興に貢献する人材の発掘と育成を目的としたものです。散逸し収集解析が

聖徳大学大学院・聖徳大学・聖徳大学短期大学部

令和四年度 入学式を挙行



四月一日(金)、本学体育館にて、令和四年度聖徳大学大学院・聖徳大学・聖徳大学短期大学部の入学式が挙行されました。

コロナ禍により、昨年同様にして、令和四年度聖徳大学短期大学部の入学式が挙行されました。また、ご家族に向けて、Zoomによるオンライン配信を行いました。当日、フォーマルスーツに身を包んだ入学生は、花曇りも吹き飛ばす程の晴れやかな笑顔で、これから始まる新生活への期待を胸に登校しました。

式の後、学長告辞において、川並弘純学長は「この大学は、皆さんの可能性を見つけ出し、可能性の扉を開くところです。自分を信じて、自分の力を信じて、自分の可能性を信じて、大いに学んでいただき、活躍していただきたいと思っております。皆さんの活躍を心から期待しております。頑張ってください」と入学生にエールを送りました。

入学式閉式後は、各教室に移動してクラスアワーを行いました。入学生は担任の教員、クラスメイトとの



学長式辞



初対面に、はじめは緊張した面持ちでしたが、すぐに打ち解けて親睦を深めていきました。翌日(土)から五日(火)にかけては、所属の学部学科に分かれてオリエンテーションを受けました。今年度は千四百四十二名が聖徳の学生としてスタートを切りました。

令和三年度 聖徳大学・聖徳大学短期大学部 教員等合格者速報

保育士採用数	全国2位 2021年大学通信調べ。
幼稚園教員採用数	9年連続15回目 全国1位 2021年大学通信調べ。 幼稚園教員採用数は、16年中15回の全国1位。
公立学校採用試験合格者数	22名 通学課程のみ。

大学教育系就職率	100% (教育系就職者数395名、就職希望者数395名)
短大教育系就職率	100% (教育系就職者数151名、就職希望者数151名)
幼稚園教員就職者数	125名
保育士就職者数	243名
公立保育士合格者数	73名
公立幼稚園教員合格者数	1名
公立幼稚園教員・保育士一括採用合格者数	2名
小学校教員採用試験合格者数	20名
小学校・中学校・高等学校専科教員採用試験合格者数	1名
養護教員採用試験合格者数	1名

「ようこそ、新入生!」 スプリングフェスタを実施

四月十四日(木)から二十日(水)の昼休み、学友会本部主催のスプリングフェスタを大学中庭にて開催しました。

コロナ禍により、ここ二年は大幅に活動が制限されてきたクラブ・同好会活動。今回はパフォーマンズに加え、新入生を対象とした新入部員の募集も行いました。

クラブ・同好会への新規加入について多くの相談もあり、このイベントをきっかけに、各団体は活動再開の大きな一歩を踏み出しました。



三田新キャンパス 上棟式を挙行



検紙の儀

三月二十六日(土)、三田キャンパスにおいて、新校舎建設の上棟式を執り行いました。
学園関係者二十六名をはじめ設計および施工の関係者を含め総勢六十名が出席しました。
午前九時三十分、参列者による上棟梁への名人れが行われた後、本学園の川並弘純理事長、川並芳純常務理事、株式会社石本建築事務所長尾昌高代表取締役社長、同社設計部門建築グループ



名入れされた上棟梁

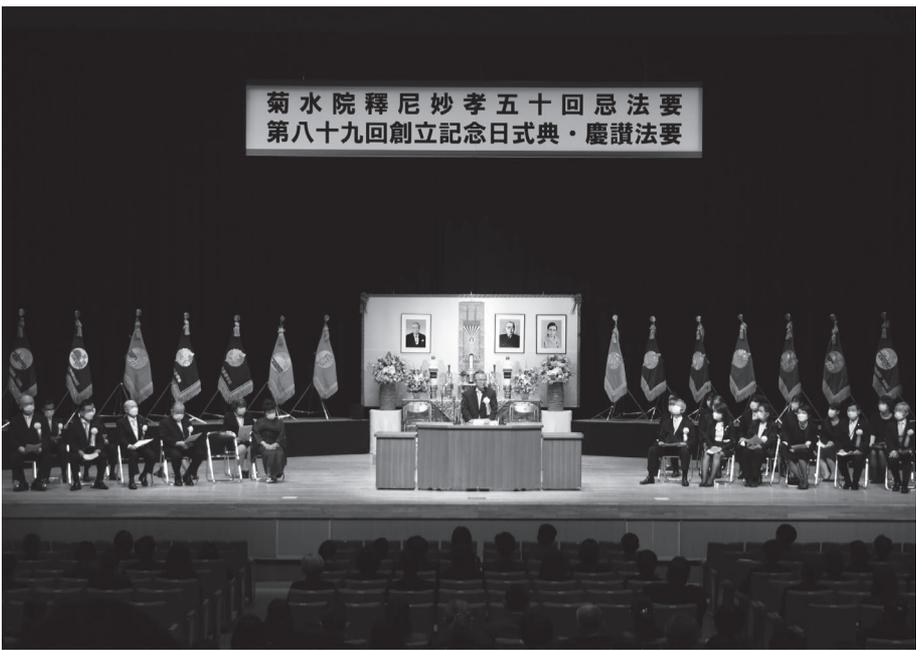
矢作隆行主事、株式会社竹中工務店車戸城二常務執行役員、同社結城大作技師長による「上棟之儀」が行われ、

無事に棟が上がったことへの感謝とともに今後の工事の安全を祈願しました。
代表者挨拶で川並弘純理事長は、「昨年末には見られなかった建物も、年を超えてふと気が付けばあつという間に最上階まで立ちあがり、いよいよ本格的に目に見える作業がスタートするということが非常にうれしく、また完成を待ち遠しく思っております。これからも安全に工事が行われますようお願いいたします」と述べました。
新校舎の竣工まであと一年。学園創設九十周年を迎える令和五年四月から、新校舎での授業が開始される予定です。



札ノ辻交差点より建設中校舎を臨む

第八十九回 学校法人東京聖徳学園 創立記念日式典を挙行



菊水院釋尼妙孝五十回忌法要
第八十九回創立記念日式典・慶讃法要

第八十九回学校法人東京聖徳学園創立記念日式典を四月二十七日(水)、聖徳大学川並香順記念講堂において挙行了しました。

式典では、初めに本学園の創立者である川並香順・孝子両先生、および川並弘昭前理事長・学園長のご遺徳を偲び、学園の発展にご尽力された方々への感謝を込めて、創立記念の法要ならびに菊水院釋尼妙孝(川並孝子先生)五十回忌法要が営まれました。慶讃法要の後、名誉教授称号授与や各種表彰が執り行われ、川並知子名誉学園長の記念講演、川並弘純理事長・学園長の式辞と続き、来賓の方々からご祝辞を賜り、閉式となりました。
本学園の建学の精神「和」のもとに、教職員一丸となって教育活動に真摯に取り組んでいくことを誓い合い、散会しました。

総合文化学科授業紹介

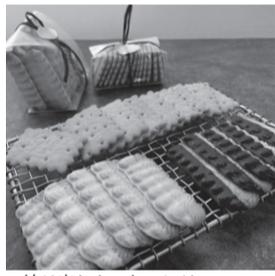
聖徳大学短期大学部 総合文化学科 だより

デザート入門Ⅰ・Ⅱ

今年度春学期から二年生を対象とした「デザート入門Ⅰ・Ⅱ」(山崎正也教授)の授業が始まりました。フードマネジメントコース以外の学生が履修できるように、午前中一から二限での実習授業となっております(製菓分野学生の実習は四コマで行います)。

ここでのメニューは焼き菓子に加えてプリンやタルトなど、カフェでお皿に盛って提供されるようなお菓子が中心です。普段の製菓実習で習わないお菓子もあり、他コースの学生たちに交じってフードマネジメントコース分野の学生も一緒に授業を受けています。

初回授業はガイダンスを行い、二回目の授業からいよいよ実習授業本番です。型抜きタイプと絞り出しタイプ



絞り出しクッキーにはチョコレートをつけました



麺棒の扱いを学びます

の二種類のクッキーをつくりました。教授のデモンストレーションを見た後、学生たちも班ごとに分かれて生地を作っていきます。



業務用オーブンの使い方を学びます



観光コースの学生も履修しています

初回時に絞りの練習をしていたので、本番の生地でも皆上手に絞っていました。

生地のおぼし方や絞り方などの基本的な動作は、デ

第一回 元気応援フェスタまつど 2022

人間栄養学部の学生が 参加しました

四月二十八日(木)松戸市民劇場にて、「第一回元気応援フェスタまつど2022」が開催され、本学人間栄養学部の学生が企画・参加しました。
この催しは、「コロナに勝って、元気を取り戻そう!」をテーマに、松戸市在住の高齢者及び高齢者の活動に関心のある方を対象としたもので、実行委員会(市民NPO法人、医療職、専門職などで構成)と松戸市の共催で開催されました。
松戸市では、千葉大学等と共同で、「松戸プロジェクト」(高齢者の社会参加と介護予防に関する研究)を実施しています。コロナ禍による活動自粛や、社会参加の機会喪失を防ぐことによる介護予防を狙い、今回のフェスタはプロボノ(自身の職業上の知識やスキルを生かして社会貢献するボランティア)を中心に企画・運営されました。



本学人間栄養学部は、東葛北部認定栄養ケア・ステーションと共同で「食生活チェック」ブースを企画し、カゴメ(株)の「ベジチェック」による推定野菜摂取量の測定や、松戸市クックパッドで人気レシピとなっている学生考案レシピ等を掲示・配布しました。
参加者からの「自分の野菜摂取量がこんなに!」との驚きの声に、学生がさかさずフォローする場面もあり、会場は和気あいあいとした雰囲気でした。今回のような地域連携事業を通じて、学生が現場から学び、また社会貢献への意識の高まりも期待されます。

音楽学部の卒業生が 新人演奏会で名演奏を披露

日本オルガニスト協会主催 「第四十九回 新人演奏会」

爽やかな五月晴れとなった五月四日(水・祝)、日本オルガニスト協会主催の「第四十九回新人演奏会」が国際基督教大学礼拝堂で行われました。



この礼拝堂のオルガンは一九七〇(昭和四十五年)年の設置以来、多くの名オルガニストが新人としてデビューを飾った由緒ある楽器です。今年も全国の音楽大学を卒業した八名の新人が参加し、本学からは三月に演奏学科パイプオルガン専攻を卒業した青柳圭音さんが出演しました。

青柳さんはドイツロマン派の作曲家、J.G.ラインベルガーの『ソナタ四番イ短調 作品98』の第一、第三章を演奏しました。名教師でもあったラインベルガーの代表作である一連のオルガンの門出を祝うのにふさわしいものでした。



左から趙三川さん(本学大学院博士後期課程)、青柳圭音さん、松居直美教授

一般社団法人日本ピアノ調律師協会主催 「第二十三回 新人演奏会」

五月二日(月)に日本ピアノ調律師協会主催の「第二十三回新人演奏会」が開催されました。会場は上野の都の開都五〇〇年事業として、一九六一(昭和三十六)年四月に建設されました。以来世界各国の著名なアーティストによる数々の名演奏が繰り広げられた音楽の殿堂であり、大学を卒業する若い音楽家たちにとって、この舞台は夢のステージです。



左から和田仁兼任講師、金井遥さん、森島英子教授

今回、本学音楽学部から選ばれて、夢舞台で演奏したのは、演奏学科ピアノ専攻卒業の金井遥さんでした。演奏曲はモーツァルト『前奏曲とフーガK.394 K.638a』。

若いピアノ奏者たちの演奏会では、いわゆる派手な選曲が多いのですが、金井さんの選んだモーツァルトは、派手とは対極にある繊細で荘厳な曲で、本領が遺憾なく発揮され、万雷の拍手を浴びました。音楽の道には終点がありません。彼女はピアノへの道をまっしぐらに進むことを心に決めており、今後ますますの活躍が期待されます。

聖徳大学陸上競技部 監督の部屋 ④

この春も新たに四名が陸上競技部に入部し、既に二カ月が過ぎました。年々、歳の差が広がるばかりの若い世代を指導するにあたり、ジェネレーションギャップを大いに感じつつも、新しい発見があり、また学生からの新しい学びを得ることは指導者としてこの上ない喜びを感じています。



監督 佐藤 信春

入学の娘らを 迎えて歳刻み われ誓いは 下問を恥じず

「下問を恥じず」とは、論語に出てくる言葉で身分や年齢の低い者に物事を尋ねることを恥がずかしむとか体裁が悪いと思わず、素直に

聞くという姿勢が大切だということです。今年度は、率先垂範を心掛け、「下問を恥じず」九月末日開催のチーム目標の関東大学女子駅伝大会に向かって共に活動してまいります。相変わらぬご声援のほどお願いいたします。(陸上競技部)

第二〇二回関東学生陸上競技対校選手権大会 三〇〇〇m障害で大西夏帆さんが6位入賞!

五月十九日(木)から二十一日(日)に国立競技場で開催された関東学生陸上競技対校選手権大会に、本学から二名の選手が出場しました。



左:大西さん 右:渡邊さん

このうち、三〇〇〇m障害の大西夏帆さん(人間栄養学科四年)は自己新記録で六位に入賞し、九月九日(金)から十一日(日)に京都・たけびスタジアムで開催される、天皇賜盃第九十一回日本学生陸上競技



対校選手権会への出場権を獲得しました。また、一〇〇〇〇mに出場した渡邊なちるさん(人間栄養学科一年)も、初出場ながら二十二位と健闘しました。

結果詳細は「聖徳大学陸上競技部ホームページ」
<https://www4.hp-ez.com/hp/seitokuriku/page4>
をご覧ください。

新型コロナウイルス(Covid-19) 予防ワクチン接種を加速させましょう!

新型コロナウイルス(Covid-19)感染の収束には、予防ワクチン接種と治療薬の普及が必須であると言われてきました。しかしながら日本では、新型コロナウイルスの三回目接種について、五十代以下の若い方の接種が遅れています。現在日本で流行しているオミクロン変異株の主流は、オミクロン株BA.2です。国立感染症研究所は、二〇二二年五月第一週には九十三%が、六月第一週には一〇〇%オミクロン株BA.2に置き換わると推測しています。(二〇二二年四月十日発表) デンマークのコペンハーゲン大学の研究(Hedrick, 2022)により、二〇二二年一月二十日オンライン)により、オミクロン株BA.1、BA.2共に三回目接種の方は、二回目接種の方に比べて、明らかに人から感染しにくく、他の人にもうつしにくいという結果でした。また、BA.2は、BA.1に比べてワクチン接種の有無にかかわらず、明らかに人から感染しやすいという結果でした。従って、BA.2は、ワクチン(免疫)を逃避する可能性が低いと考えられます。しかしながら、ワクチン接種により、他の人への感染は、少ないことが明らかになりました。つまり、新型コロナウイルス(Covid-19)予防ワクチン第六波の感染収束と来るべき第七波の感染拡大を少なくするために、三回目のワクチン接種が極めて大切という事です。また五歳から十二歳未満のワクチン接種もぜひ進めていただきたいと思います。お待ちしております。(所長 宮川 三平)

保健センター 所長 宮川 三平

令和4年度 香和会 行事予定表

第55回 香和会総会 日程 9月18日(日) 場所 聖徳大学

支部パーティー 日程予定一覧

北陸・上信越支部 日程 9月4日(日) 13:00~15:00 場所 新潟市 万代シルバーホテル	甲州・中部・東海支部 日程 9月25日(日) 場所 富士市 未定
九州・沖縄支部 日程 10月8日(土) 場所 那覇市 ホテルストレータ那覇	北関東支部 日程 10月30日(日) 14:00~16:00 場所 さいたま市 ワイズダイニング大宮
北海道・東北支部 日程 11月5日(土) 11:30~13:30 場所 ホテルメトロポリタン盛岡	南関東支部 日程 12月4日(日) 13:30~15:30 場所 聖徳大学
近畿・中国・四国支部 日程 12月10日(土) 12:00~14:00 (11:30~受付) 場所 大阪市 ホテル阪急インターナショナル	

(お問い合わせ) 聖徳大学 香和会
TEL/FAX : 047-366-5084
E-mail: kouwakai@wa.seitoku.ac.jp

※時節柄、中止や変更があります。HPでご確認ください。 www.seitoku-kouwakai.com

募金だより

いつも募金活動にご協力いただき、ありがとうございます。

「銀行や郵便局の窓口に行かず、寄付の払込みをする方法はないだろうか」とのご意見をいただき、この度、キャッシュレス決済による「寄付の受付を開始いたしました。」

クレジットカード・コンビニエンスストア・インターネットバンキング(PayPay)による払込み方法が、新たにご利用いただけるようになりました。ご寄付のご案内内ホームページ「お申込み」



寄付のご案内HP

「聖徳教育學術振興募金」寄付者芳名一覧

●聖和会関係
一〇、〇〇〇円 河野 傑 様

●光英VERITAS 中学校・高等学校関係
二、四九一、九四〇円 光英VERITAS 中学校・高等学校後援会 様 (一四、六七一、九一〇円)

●教職員関係
三〇、〇〇〇円 山本 真理子 様 (二四〇、〇〇〇円)

●聖徳大学附属浦安幼稚園
一〇、〇〇〇円 教職員一同 様 (六〇、〇〇〇円)

「聖徳大学香和会五十周年記念奨学基金」寄付者芳名一覧

●香和会関係
三、〇〇〇円 山本 真理子 様 (一九、〇〇〇円)

●合計 三、〇〇〇円
●累計 四一件 三五、〇九五、五〇〇円

●お申し込み・お問い合わせ先
東京聖徳学園 募金課 TEL.047-365-1111(代)
ホームページアドレス https://seitoku-u.ac.jp/donation/

幼児教育専門学校

聖徳フレンドシップデー

四月九日(土)に、「聖徳フレンドシップデー」を実施しました。今年で十五回目を迎えるこの行事は、「聖徳教育I」の一つとして行われ、新入生と上級生が親睦を深めること、学生が卒業までの学習の見通しを持ち、学ぶ意欲を高め、目指す保育者像を持つことを目的としています。

開成式はここ二年間、新型コロナウイルス感染拡大予防のため放送で行っていましたが、今年度は教室に全学年が集まって実施しました。はじめに川並順校長より、学生生活でのアドバイスその他、履修科目の内容やカリキュラムを理解することで自己の学習課題を整理する大切さについて話がありました。



前半は、新入生と上級生に分かれ別々のプログラムを実施しました。新入生は、学習シートやカリキュラムマップについての説明を受け、これから学習を進めていく上で必要な情報を得ました。オンライン授業の受け、これから学習を進めていく上で必要な情報を得ました。オンライン授業の受け、これから学習を進めていく上で必要な情報を得ました。



この聖徳フレンドシップデーは、上級生には行事を企画・実行する大変さや楽しさを知る貴重な経験となりました。また、オリエンテーション委員の学生は、新入生オリエンテーションから入学式、聖徳フレンドシップデーまでの期間中、新入生のサポートに徹し、委員解散式では充実感でいっぱい笑顔を見せていました。

光英VERITAS中学校・高等学校

中学校 第二回 入学式

四月九日(土)、光英VERITAS中学校第二回入学式を挙行了しました。

今年も新型コロナウイルスの感染拡大の影響で規模を縮小したうえ、中学校と高等学校の入学式を分けての実施となりました。

新入生百三十七名は真新しい制服に身を包み、葉の緑が目立ち始めた校に見守られながら新しい学校生活のスタートを切りました。

入学を許可された新入生は、川並純学園長の告辞、来賓からの祝辞を受け、これから始まる学校生活に大きな期待を感じたことと思います。



学園長告辞での、「知識に好き嫌いはいらない。広い視野で幅広く学ぶことが大切」という言葉、校長が式辞で述べた「生徒の、生徒による、生徒のための学校」



「挨拶は心を開く魔法の言葉」心は一人では磨けない」「形に残る学習をしよう」「汗して身体を鍛えます」を胸に刻み、生徒たちは「問いを持つ学び」の実践をスタートさせます。

高等学校 第二回 入学式

午前中に行われた中学校の入学式につき、午後は光英VERITAS高等学校第二回入学式を挙行了しました。

新入生百二十五名が入学を許可され、高校生としての第一歩を踏み出しました。校長が式辞で述べた、「生徒の、生徒による、生徒のための学校」という言葉を実践し、生徒が中心となり有意義な学校生活を過ごせるよう教員一同サポートしていきます。



四年生(新高校一年生)の学年目標は、「3C力の向上」(竜のように舞い上がる→向上)としました。この3Cとは、C1「コミュニケーション」(会話力)、C2「コンティニュー」(継続力)、C3「コンセントレーション」(集中力)を意味します。



そして、三年後の進路を見据え、「英語力の向上を目指す」を生徒と共に教員も一丸となって取り組んでいきます。

取手聖徳女子中学校・高等学校

吹奏楽部 第三十三回定期演奏会

三月二十五日(金)、牛久市中央生涯学習センター文化ホールにて、第三十三回吹奏楽部定期演奏会を開催しました。



今年度も、入場者数制限のため、ネットでの予約制として動画配信サイトからライブ配信するなど、感染症対策を採りましたが、一方でファン歴の長い一般市民の方々からの電話申込みもありました。

当演奏会では、制服姿で演奏する第一部に続き、盛り上がるのはやはり、第二部です。生徒が軽妙なトークで進行する中、踊りも交えて広く親しまれる楽曲が連続します。坂本九の楽曲メドレー

や、「め組のひと』『マッケンサンバ』などの曲目に会場は沸きました。

第三部では、入学予定の十四名の中学三年生も緊張した面持ちで演奏に加わっていました。本校では、普通科においても最大十二単位の吹奏楽専門の選択科目が履修できるため、吹奏楽推薦入試に合格して入学する生徒も少なくありません。

少し涙を誘う卒業生の紹介を最後に、拍手喝采の中で演奏会は閉幕。ライブ配信の視聴状況は、昨年を大きく上回り、二〇〇回を超えました。顧問の小塚功教諭は「皆さまからの拍手や、激励の言葉こそ私たちにとって宝物。取手聖徳女子でしか奏でることのできない音色をこれからもさらに追求していきたい」と来春に向けての展望を語っていました。

附属小学校

第三十七回入学式

校庭の藤の花が満開を迎えた四月十一日(月)、第三十七回入学式が挙行され、八十五名の一年生が聖徳の子に仲間入りしました。コロナ禍により、今年度も



参加者を各家庭二名に制限しての実施となりましたが、子どもたちは新生活への期待にわくわくした表情を浮かべていました。

入学式の翌日からは、小学校での過ごし方を学んだ後、国語や算数の授業が始まる

初めての授業参観がありました。一年一組の国語「いいんき」では、教科書の挿絵の中から見つけた事物を発表しました。二組の算数「おなじかずのなまをさがそう」では、挿絵から動物の種類や道具の個数を仲間分けして

IPad「深く学ぶ」

社会のデジタル化が急速に進む中、教育にもICTの活用が求められています。本校ではiPadを導入しており、体育館を含む全教室にWi-Fi

数の勉強をしました。三組の算数「たりのかな」では、線をつなぐことで数の比較がしやすいことを知り、問題を解きながら理解を深めました。子どもたちは、緊張しながらも頑張る様子を保護者に見てもらうことができ、とても嬉しそうでした。

本校では、これからも集団生活を通して、子どもたち一人ひとりが自分たちの良さを十分に発揮し、楽しく学校生活を送れるようサポートしていきます。

第四十期入学生SFC (セイトクフレッシュメンズキャンプ)

四月十日(日)に入学した普通科五十一名、音楽科十名の高校一年生は、四月十四日(木)から二泊三日の日程で、筑波山京成ホテルでのSFCに参加しました。



SFCは毎年、入学後すぐに開催しており、将来の目標実現のために探究する力やコミュニケーション能力を高めることを目的としています。

幼稚園短信

聖徳大学三田幼稚園

給食が始まりました

本園では、新学期が始まり園生活に慣れてきたころに給食を始めます。今年四月十八日(月)より開始し、二十一日(木)には分散登園



で別々に食事をしてきた桜組(年少組)も全園児揃って給食となりました。

時は「黙食」を守ってもらい食べています。

進級した梅組(年中組)・松組(年長組)の中にも、苦手な食材があり給食に不安を持つ子どもがいます。しかし環境が変わり、新しいクラスや友達の中で食べることで自信が付き、だんだん楽しみに変わっていきます。コロナ禍の食事様式も定着し、食べる

食は初めての経験ですが、給食前になると「おなかがすいたね」「給食美味しそうだね」と楽しみなようです。入園当初は子どもによって食べる量に差があり、また好まない食材もはつきりしています。それでも一口でも食べることから慣らしていきます、少しずつ



～4月22日の献立～
桜飯(静岡県のご当地メニュー)、
鮭の塩麴焼き、きつねサラダ、
うどん汁、ぶどうゼリー

大好きな給食

今年度も子どもたちの大好きな給食が四月十八日(月)から始まりました。

園児たちは、朝登園してくと「今日の給食は何かな?」と玄関にある献立表を見て、朝から給食を楽しみにしている様子が見えます。新入園児の中には見た目の印象



を準備し、学習のさまざまな場面で活用しています。六年生の算数「対称な図形」の単元では、線対称・点対称な図形の性質を学習した後「校舎の中の線対称・点対称を三つずつ探そう」という課題に取り組みました。児童はiPadを持って校舎内を回り、「こんなところにあった」など慣れ親しんだ校舎に新たな発見をしながら、各々写真に収めていました。iPadの使用により学習が深められたのはもちろん、家でも線対称・点対称を探してみたいという児童が大勢おり、学習内容の日常生活とのつながりが感じられました。

また、音楽の授業では、「GarageBand」というソフトを活用しています。「星空はいつも」という曲の一部を整備し、学習のさまざまな場面で活用しています。

「これは食べられない」という子どももいますが「一口食べてみましょうね」と先生に促され口にしてみると、「おいしい!」「食べられたよ!」と喜びの表情に変わります。その様子を保護者の方にお話しすると「家では食べない野菜なのに食べたなんてすごいです」と驚かれたり喜ばれたりしています。さらに進級して年中組、年長組になると、園児たちは食欲旺盛になり、大好きな給食をいつもおかわりしています。

今年度も新型コロナウイルス感染症予防をしながらの給食となります。みんなと食べる楽しさを感じ、「食育」の場として食事のマナーや正しい箸づかいが身につくように心がけ、給食を実施していきます。

聖徳大学多摩幼稚園 新しいクラスでの 親子親睦会

クラス内や親子の親睦を図ることを目的とした親子親睦会が二年前より行われてきました。

当日は朝から子どもたちは「今日はお母さん来るよ」「早く遊びたい!」と幼稚園で一緒に遊ぶことを楽しみにしていました。親睦を図るといっても、コロナ禍では他の方と触れ合う遊びは避けたいため、今回は各クラスでテーマを決め、自己紹介を兼ねたビンゴゲームをして親子で遊びました。

桜組(年少組)は「果物」、梅組(年中組)は「動物」、松組(年長組)は「担任の先生の好きなもの」をテーマに



ビンゴゲームを行いました。「何にする?」「〇〇がいいな」「ほかにどんなものがあるかな?」「先生の好きなものって何だろう」と親子で一緒に考えてビンゴの紙に書いていきました。松組になると自分で文字を書いた。

たり、周りに聞こえないようにお母さんと小さな声で相談している子どももいました。先生からの答えを聞いて、自分が書いたものが言われると「やった!」「揃ったよ!」と親子で一緒に喜んで「やっぱりこっちだったか」「こっちにしてあげばよかったな」と少し悔しそうにする子どももいました。

親子で一緒に考え、一緒に喜び合う姿はとても微笑ましい光景でした。十五分程度の短いひとときでしたが、新年度がスタートしたこの時期にクラスの様子や雰囲気を感じていただけの親睦会になりました。

聖徳大学附属第二幼稚園 なごし給食

本園の一つの特長に「給食」があります。園内の給食室で作る自園調理の給食で、保護者の方々からも好評です。本園の教育の一つとして「食育」を掲げ、食事のマナーや偏食改善等、給食を通して園児の成長を促すことが出来るよう配慮しています。

今年度は、四月の最終週から給食が始まりました。ただ、いきなり通常のメニューでは始めず、二日間の「ならし給食」を行いました。これは給食の雰囲気を感じ、食べるための準備や片づけなどに慣れることが目的で、おやつ程度のもので食べることにしています。今年度の



メニューは、リンゴジュース、オレンジゼリーでした。給食を食べる前に排泄を済ませ、しっかりと手を洗って、静かに座って待つことを園児に伝えます。年齢の低い学年では、一人ひとりに教師が関わりながら対応することが必要です。「幼稚園でジュースを飲む」という簡単な事でも、新入園児にとっては初めての経験であり、その指導はかなり時間を要します。特に今は新型コロナウイルス感染症対策として黙食が基本となるため、楽しい食事と安全を考え実施しました。ならし給食終了後、

「おいしかった!」明日も給食ある?と、今後の給食に期待する園児の声もあり、友達と一緒に食べる喜びを感じられたようです。コロナ禍により、黙食となりますが、みんなが食に対して興味をもち、給食を通して学び育つ環境を整えてまいります。

聖徳大学附属浦安幼稚園 SEITOKU オープンキッズワールド 園庭開放日

令和四年度第一回目の「園庭開放」を四月二十三日(土)に行いました。これは、地域に開かれた幼稚園として、子育て支援の一環で実施しているものです。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ここ数年、実施を見合わせていましたが、

感染対策をきちんと行い、実施回数が増え、時間の短縮など、安心、安全にできる方法を考え、三年ぶりに再開しました。今回は、五組の未就園児と保護者が参加しました。参加する幼児と保護者、ご家族の方には、二週間前から健康観察、検温をしていただき、当日は保護者へ不織布マスクの着用をお願いするなど、実施には万全を期しました。

はじめに「おはようの歌」「こいのぼり」の歌や「おもちゃのチャチャチャ」の手遊びをしました。幼児たちは、保護者と一緒に笑顔で手遊びに参加し、先生の手の動きをまね、名前を呼ばれるとうれしそうに返事をしていました。続いて絵本を見た後は、こどもの日に向けて「こいのぼり」「かぶと」の製作をしました。シールを貼ったり、アンパンマンの顔を描いて出来上がりです。かぶとをかぶり、こいのぼりを持って、園庭に泳いでいる大きなこいのぼりの下で笑顔で写真撮影をしました。園庭ではサーキットや園庭遊具で楽しく遊び、最後に園バスの見学をしました。

聖徳大学附属幼稚園 ぼくの目標 ブロックあそび

「これは変形するコマだよ」「このブロックを付け替えて進化させよう」「この車は羽がついているよ。低空飛行できるんだ」



これは年長児松組の子どもたちが、さまざまなブロックを組み合わせて遊んでいる最中に飛び交った言葉です。自分の手で作り生み出した作品を伝えようと一所懸命です。そして完成したブロックの掛け声に合わせて回して対戦をします。この勝負は最後まで回り続けたコマが勝ち。負けてしまったら「これはダメ。ピンとこない」とパーツを組み直します。どうすればもっと良く回るようになるかを考え、同じ型のパーツを対称に組みます。

子どもたちの「勝ちたい」「やりたい」という思いは原動力となつていきます。友達の作品を見て「いいな」と感じた作り方を真似したり、作り方を聞いたりする子どももいます。クルマを作る時にもパーツを加えることで形が変わったマイカーを友達同士で見せ合いアピール合戦が始まります。進級して二週間がたち、好きな遊びを介して友達同士、会話が弾むようになりました。遊びの中で芽生えた育つ感性や感覚。子どもたちが今までの経験で得た知識や言葉を、自分なりの表現で伝えようとしています。友達と一緒に遊ぶのが楽しく、学ぶことがあるのが幼稚園です。一人ひとりが互いを認め合える楽しい幼稚園を目指していきます。

聖徳大学附属成田幼稚園 親子交流会

新年度が始まり約一カ月が経ち、幼稚園には毎日子どもたちの元気な声が響いています。給食も始まり、新入園児も一日の流れを理解し始め、園生活を楽しめるようになってきました。我が子が初めて自分から離れる保護者にとって、幼稚園で過ごす時間は何十時間にも感じます。そこで四月二十一日(木)に「親子交流会」を行い、担任から日頃の園生活の様子を伝えるとともに、一人ひとり自己紹介をしていただく等の交流の場を設けました。

新型コロナウイルス感染症対策を取りながらの行事運営は、近頃では当たり前となつてきました。今回も学年ごとに時間をずらし、広い遊戯室に間隔をあけて集まりました。担任からの説明で、子どもたちが自分の事は自分で



なつてきました。今回も学年ごとに時間をずらし、広い遊戯室に間隔をあけて集まりました。担任からの説明で、子どもたちが自分の事は自分で

していることや、年長児では自覚が芽生え、小さなお友達を保育室へ連れて行くことを紹介すると、保護者の方々はうれしそうな様子で聞かれました。また自己紹介では、恥ずかしがりながらも我が子の様子を一所懸命に話され、それを聞いて、「うちも同じ」とうなずき、ほっとした表情を見せる方も見受けられました。園児達が日ごろ歌っている歌を披露すると、さらに顔がこやかになり、温かい雰囲気の中、親子交流会を終えることができました。コロナ禍により、なかなか保護者同士の交流が持たない中、今回の親子交流会での皆さんの満足そうな表情を目にし、改めて対面による機会の必要性を感じました。

担任からの説明で、子どもたちが自分の事は自分で

ちやのチャチャの手遊びをしました。幼児たちは、保護者と一緒に笑顔で手遊びに参加し、先生の手の動きをまね、名前を呼ばれるとうれしそうに返事をしていました。続いて絵本を見た後は、こどもの日に向けて「こいのぼり」「かぶと」の製作をしました。シールを貼ったり、アンパンマンの顔を描いて出来上がりです。かぶとをかぶり、こいのぼりを持って、園庭に泳いでいる大きなこいのぼりの下で笑顔で写真撮影をしました。園庭ではサーキットや園庭遊具で楽しく遊び、最後に園バスの見学をしました。



こうして五十分間の「園庭開放」はあつという間に終了となりました。中には「まだ帰らない!」もつと遊ぶ、久しぶりの実施でしたがうれし結果となりました。今後も感染対策を徹底し、楽しい園庭開放になるよう工夫していきます。

第55回 SEITOKU夏期保育大学7月23日(土)開催

SEITOKU夏期保育大学は、幼稚園教諭、保育士、保育に関心のある皆さまを対象として毎年夏に開催している恒例行事です。今年は「幼児教育・保育で取り組みたいSDGs」を総合テーマに、プロ・ナチュラリスト® 佐々木洋先生による講演のあとに、現場で役立つ10テーマの分科会を予定しています。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

〈総合テーマ〉 幼児教育・保育で取り組みたいSDGs

- 日 時： 令和4年7月23日(土) 10時30分～16時15分
- 場 所： 聖徳大学松戸キャンパス(松戸駅東口から徒歩5分)
- 受講料： 一般:5,000円 本学卒業生:4,000円 在学生:2,500円(通信生含む)
- 定 員： 480名 ※定員になり次第、締切とさせていただきます。

全体会 10:50▶12:10

講演 身近に小さな自然を見つけよう —SDGsへの入り口

●講師プロフィール：

1961年東京都生まれ。(財)日本自然保護協会 自然観察指導員、東京都鳥獣保護員など様々な立場で自然解説活動を展開した後、「プロ・ナチュラリスト®佐々木洋事務所」を設立。生きもの専門クリエイター集団「あにまにあ」リーダー。「自然の面白さや大切さを多くの人と分かち合い、そのことを通じて自然を守っていきたい」という思いのもとに30年以上にわたって、自然観察指導、自然に関する執筆・写真撮影、講演会、TV・ラジオ番組、Webサイトの出演・企画・監修、エコロジーツアー・イベントの企画・ガイド等を通して自然に触れ合う機会を提供している。豊富な知識、ユーモアあふれる話術、数々のオリジナルプログラムなどで幅広いファン層を持つ。とくに幼児や児童とその母親には、絶大な支持を得ている。現在まで、自然観察会などの参加人数は延べ37万人にも及ぶ。近年は、新人プロ・ナチュラリスト®の養成にも力を注いでいる。

- TV出演： テレビ東京「緊急SOS!池の水ぜんぶ抜く大作戦」、NHK総合「ダーウィンが来た!」、NHK総合「クローズアップ現代」、NHK総合「助けて!きわめびと」他多数
- 著書： 『ナンコレ生物図鑑』(旬報社)、『となりのミステリー生物ずかん』(時事通信社)、『それいけ!ネイチャー刑事1~3』(講談社)他多数

講師 プロ・ナチュラリスト® 佐々木 洋先生



分科会 13:30▶16:15

★現場で役立つ10のテーマ★

第1分科会	園庭環境を豊かに	[講師] 聖徳大学大学院教職研究科教授 重安 智子 聖徳大学短期大学部保育科教授 古川 由紀子
第2分科会	体を動かして楽しむ	[講師] 聖徳大学短期大学部保育科教授 櫻木 真智子 聖徳大学短期大学部保育科教授 岸田 眞弓
第3分科会	アートで遊ぶ	[講師] 聖徳大学教育学部児童学科教授 大成 哲雄 聖徳大学短期大学部保育科准教授 北沢 昌代
第4分科会	〈つなぎを創る〉 絵本から遊びへ	[講師] 聖徳大学大学院教職研究科教授 藪中 征代
第5分科会	音を探す・音を創る	[講師] 聖徳大学教育学部児童学科教授 住江 一郎 聖徳大学教育学部児童学科准教授 関口 明子
第6分科会	イメージを探す・歌で表現する	[講師] 聖徳大学短期大学部保育科准教授 春日 保人 聖徳大学短期大学部保育科講師 森岡 紘子
第7分科会	人形で遊ぶ	[講師] 聖徳大学短期大学部保育科准教授 掃守 純一郎
第8分科会	赤ちゃんからの非認知能力 —アタッチメントを育む保育実践—	[講師] 聖徳大学教育学部児童学科准教授 深津 さよこ 聖徳大学教育学部児童学科准教授 齋藤 有
第9分科会	小学校への接続に向けた 「気になる子」の保育	[講師] 聖徳大学教育学部児童学科教授 東原 文子 聖徳大学大学院教職研究科教授 腰川 一恵
第10分科会	コミュニケーションと 保護者支援	[講師] 聖徳大学教育学部児童学科教授 沢崎 真史

資料請求 お問い合わせ

〒271-0092 千葉県松戸市松戸1169 聖徳大学10号館 聖徳大学生涯学習課 Tel. 047-365-3601(直通)

聖徳大学生涯学習課



URL <https://www.seitoku.jp/soa/>

学校説明会関係行事のご案内

※6月から8月までの予定です。詳細及び9月以降の予定につきましては、各校にお問い合わせください。

■ 聖徳大学(女子)・聖徳大学短期大学部(女子) ●お問い合わせ: 0120-66-5531(直通)

オープンキャンパス (来校型・オンライン配信型)

- ▶6月19日[日] ▶7月17日[日] ▶8月21日[日]
- ▶7月3日[日] ▶8月7日[日]

児童学科・教育学部 オープンキャンパス ▶6月11日[土] 13:00~15:00 ▶7月30日[土] 13:00~15:00

聖徳大学短期大学部 オープンキャンパス ▶6月11日[土] 13:00~15:00 ▶7月30日[土] 13:00~15:00

■ 通信教育部(大学院・大学・短期大学部 共学) ●お問い合わせ: 047-365-1200(直通)

[WEB配信] オンライン入学説明会

- ▶6月12日[日] 13:00~13:45 ▶7月17日[日] 13:00~13:45 ▶8月14日[日] 13:00~13:45

[WEB配信] オンライン公認心理師入学説明会

- ▶6月25日[土] 13:00~14:10 ▶7月30日[土] 13:00~14:10 ▶8月28日[日] 11:00~12:10

[WEB配信] オンライン社会福祉士・精神保健福祉士入学説明会

- ▶8月20日[土] 13:00~14:10

オンライン入学個別相談【予約制】

- ▶6月4日[土] 10:00~15:00 ▶7月2日[土] 10:00~15:00 ▶7月24日[日] 10:00~15:00
- ▶6月5日[日] 10:00~15:00 ▶7月3日[日] 10:00~15:00 ▶7月31日[日] 10:00~15:00
- ▶6月18日[土] 10:00~15:00 ▶7月9日[土] 10:00~15:00 ▶8月6日[土] 10:00~15:00
- ▶6月19日[日] 10:00~15:00 ▶7月10日[日] 10:00~15:00 ▶8月7日[日] 10:00~15:00
- ▶6月26日[日] 10:00~15:00 ▶7月16日[土] 10:00~15:00 ▶8月21日[日] 10:00~15:00
- ▶7月23日[土] 10:00~15:00 ▶8月27日[土] 10:00~15:00

ホームページ(入学説明会ページ)よりご予約ください。 <http://www.seitoku.jp/tk/event.php>

■ 聖徳大学幼児教育専門学校(女子) ●お問い合わせ: 03-5476-8811(代)

オープンキャンパス

- ▶6月26日[日] 10:00~
- ▶8月7日[日] 10:00~
- ▶8月20日[土] 10:00~
- ▶8月28日[日] 10:00~

ショートオープンキャンパス

- ▶6月18日[土] 10:00~
- ▶7月2日[土] 10:00~
- ▶7月30日[土] 10:00~

夜の進学説明会

- ▶6月16日[木] 18:00~
- ▶7月7日[木] 18:00~
- ▶8月2日[火] 18:00~

入試説明会

- ▶6月4日[土] 10:00~
- ▶7月16日[土] 10:00~

■ 光英VERITAS中学校・高等学校(共学) ●お問い合わせ: 0800-800-8442(入試広報室直通)

学校説明会

- ▶6月25日[土] 9:30~11:30 ▶6月18日[土] 9:30~11:30

オープンスクール

- ▶7月18日[月・祝] 9:30~11:30 ▶7月31日[日] 9:30~11:30
- ▶8月7日[日] 9:30~11:30 ▶8月11日[木・祝] 9:30~11:30
- ▶8月28日[日] 9:30~11:30 ▶8月28日[日] 13:30~15:30

部活動見学会

- ▶6月25日[土] 14:00~

■ 聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校 ●お問い合わせ: 0297-83-8111(代)

学校説明会 兼 吹奏楽コース説明会

- ▶6月18日[土] 9:30~11:30 ▶7月9日[土] 9:30~11:30 ▶7月30日[土] 午前 ▶8月11日[木・祝] 午前 ▶8月20日[土] 午前

夏の学校見学会

- ▶7月30日[土] 午前 ▶8月11日[木・祝] 午前 ▶8月20日[土] 午前

■ 聖徳大学附属小学校(共学) ●お問い合わせ: 047-392-3111(代)

学校説明会【予約制】

- ▶6月18日[土] 10:00~11:30 [午前の部] 10:00~11:30 [午後の部] 14:45~16:00

わくわくオープンスクール【予約制】

- ▶7月23日[土] 10:00~12:10 [午前の部] 10:00~12:10 [午後の部] 14:45~16:00 ▶8月20日[土] 10:00~12:10 [午前の部] 10:00~12:10 [午後の部] 14:45~16:00

読者の声

ご意見・ご感想の宛て先

学園広報紙聖徳フラッシュをお読みいただきありがとうございます。今後とも内容の充実がますますありますので、ぜひ皆さまのご意見・ご感想をお寄せください。
(郵送) 〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 東京聖徳学園「聖徳フラッシュ」係まで
(インターネット) <https://www.seitoku.ac.jp/gakuen/toiwase/frmpub>

令和4年度 大学・短期大学部/後援会・保護者会 開催日程

開催日	時間	内容	場所
6月4日(土)	13:00	【第49回】北海道支部総会・保護者会	札幌・札幌グランドホテル
9月4日(日)	12:30	【第51回】新潟地区支部総会・保護者会	新潟・万代シルバーホテル
9月11日(日)	12:30	【第43回】東北(南)支部総会・保護者会	郡山・ビューホテルアネックス
10月2日(日)	12:30	【第25回】静岡県支部総会・保護者会	静岡・ホテルアソシア静岡
10月9日(日)	12:30	【第50回】東北(北)支部総会・保護者会	仙台・仙台ガーデンパレス
10月16日(日)	12:30	【第43回】甲信地区支部総会・保護者会	甲府・談話館
10月23日(日)	12:30	【第52回】九州・沖縄地区支部総会・保護者会	那覇・ホテルJALシティ那覇
10月30日(日)	12:30	【第47回】北関東支部総会・保護者会	大宮・JA共済埼玉ビル
11月6日(日)	12:30	【第51回】茨城県支部総会・保護者会	聖徳大学
		【第45回】東京地区支部総会・保護者会	聖徳大学
11月27日(日)	12:30	【第47回】千葉県支部総会・保護者会	聖徳大学

信州佐久 春日温泉 自然体感リゾート

長野県佐久市 春日 2258-1

かすがの森

ご予約はお電話にて 電話:0267-52-2111

宿泊料金・プランはホームページをご覧ください。 <http://www.kasuganomori.com/>

世界文化遺産「荒船風穴」

所在地:群馬県甘楽郡下仁田町大字南野牧甲10690-2 見学科:一般500円、高校生以下無料
見学時間:9:30~16:00(12月1日~3月31日は冬季閉鎖) 問合せ:0274-82-5345(下仁田町歴史館)

天然の冷風を利用したカイコの卵(蚕種)の貯蔵所跡で、2014年に「富岡製糸場と絹産業遺産群」の構成資産の一つとして世界文化遺産に登録されました。明治38年(1905年)から昭和13年(1938年)頃にかけて稼働し、全国から蚕種を預かり貯蔵して、卵がかかる時期を調整することによって絹の原料である繭の増産に貢献しました。

現在でも岩の隙間から吹き出す冷風を感じることができ、時期によっては白雲の流れを見ることが出来ます。下仁田町歴史館では荒船風穴の資料を多数展示しており、見学科が荒船風穴とセットで割引になりますので、ぜひお立ち寄りください。



画像提供: 下仁田町歴史館

セイトクの派遣会社だから安心

派遣登録募集中!! 幼稚園教諭、保育士、一般事務 お気軽にご連絡ください

セイワコーポレーション 東京都港区虎ノ門1-1-20



0120-525-126 般 13-300726 13-ユ-300913

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大が懸念されています。

本紙に掲載しているイベント・行事については、今後中止・延期になる場合があります。事前に各学校や園にお問い合わせをお願いします。

学校法人 東京聖徳学園

聖徳フラッシュ 第120号 発行人/川並 弘純 編集/総務課

〒108-0073 東京都港区三田3-4-28 TEL.03-5476-8811(代)